

(様式 5-2) 地域重点施策推進事業 事後評価調書(平成25年度実施分)

地域振興局名 : 秋田地域振興局

(振興局調整費)

| 部 名 | 部長名 | 担当課 | 担当班名 | 担当者名 | 電話番号 | 事業名、事業期間 | 事業目的、必要性 | 事業費 (円) | 委託・ 負担金・ 直営 | 事業実施状況 | 事業実施主体 | 事 業 対 象 者 | 事業決定月日 (部局長会議等) 及び評価確定日 | 事業の効果及び 住民の満足度 | 今後の課題及び 取組方向 |
|-------|-------|-----------------|----------------|-------|----------------------|---|--|------------|-------------------|---|------------------------------|--------------|-------------------------------|--|--|
| 総務企画部 | 菅 生 伝 | 地域企画課 | 企画・地域 振 興 班 | 藤原 貴晃 | 018- 860- 3313 | 「北前船寄港地フォーラム in 男鹿」開催支援事業 | 県及び男鹿地域の観光と 産業の発展を図るため、 男鹿市で開催される「北 前船寄港地フォーラムin 男鹿」に対して支援する。 | 500,000 | 負担金 | 北前船寄港地フォーラム in男鹿の開催(7/26~27、 参加者:800人、会場:男 鹿市民文化会館) | 北前船寄港地 フォーラムin男 鹿実行委員会 | 一般県民 | 平成26年7月1日 | 開催テーマは観光、経 済、文化、新エネルギーな ど幅広く、企業からの協 力・参加も多かったため、 地域の関係者の意識を高 めることができた。 | 日本海沿岸地域の産学官 の広域連携、広範にわた る異業種交流など、民間 主導の取り組みを推進す る必要がある。 |
| | | | | | | 平成26年11月10日 | | | | | | | | | |
| 総務企画部 | 菅 生 伝 | 地域企画課 | 企画・地域 振 興 班 | 佐藤 博美 | 018- 860- 3313 | 男 鹿 半 島 集 客 力 向 上 プ ロ ジ ェ ク ト | 男鹿地域の集客力の向上 を図るため、部局横断的 なプロジェクトチームを組 織し、海フェスタのプロ モーション活動、男鹿地域 の観光振興に係るアン ケート調査等を行う。 | 354,093 | 直営 | ・秋田駅、エリアなかいち 等での海フェスタのプロ モーション(7月) ・夏期における男鹿の観 光客を対象としたアンケ ート調査(8月) | 県 | 一般県民 | 平成25年7月1日 | 地域振興局職員が一丸と なって、海フェスタをPRす ることで、男鹿の観光振興 を盛り上げることができ た。 また、夏期に実施したアン ケートでは、観光客の動 線など男鹿の観光振興に おける課題を明らかにす ることができた。 | アンケート結果では、立ち 寄り箇所が1箇所~2箇所 という観光客が多く、観光 消費額を拡大するためには 、立ち寄り箇所や滞在 時間を増やすための取組 が必要である。また、食の 満足度が低いことから、食 の磨き上げも課題となっ ている。 |
| | | | | | | 平成25年5月 ~ 平成25年8月 | | | | | | | 平成26年11月10日 | | |
| 総務企画部 | 菅 生 伝 | 地域企画課 | 企画・地域 振 興 班 | 佐藤 博美 | 018- 860- 3313 | 「まだ来てたんせ! か で ど こ ー 杯 業 秋 田 お も て な し 事 業 | 旅行を終えて秋田駅を発 つ観光客に、秋田の地酒 を締めの一杯としてふるま い、最後のおもてなしをす ることで、酒の国秋田をア ピールし、リピーターの獲 得を図る。 | 260,087 | 直営 | 秋田駅東西連絡通路で、 秋田に来県した観光客を 対象としたお酒のふるま いを実施(12/1、8、15、 22) | 県 | 観光客 | 平成25年9月24日 | 観光客への最後のおも てなしとして、五感に訴える 観光プロモーションをする ことで、秋田の旅の印象 付けや秋田の酒のイメ ジアップを図ることが出来 た。 | 秋田の日本酒は観光にお ける重要な要素であり、今 後もプロモーションを実施 する際の切り口として活用 していく必要がある。 |
| | | | | | | 平成25年12月 | | | | | | | 平成26年11月10日 | | |
| 総務企画部 | 菅 生 伝 | 地域企画課 | 県民生活・ 産 業 班 | 佐藤 大志 | 018- 860- 3319 | 秋 田 地 域 振 興 局 魅 力 発 信 事 業 | 秋田地域を視覚的・感覚 的にアピールするため、 秋田地域の魅力を表現す るようなロゴマーク等を作 成し、フェイスブック、観光 パンフレット、名刺、封筒 等で幅広く活用する。 | 42,000 | 委託 | 秋田地域振興局「ロゴ マーク」及び「フェイスブ ックのページタイトル」作成 | ノリット・ジャポ ン株式会社 | 一般県民 | 平成26年7月1日 | ロゴマークを封筒、名刺等 にも使用し、以前よりも視 覚的・感覚的に効果的な PRを図ることができた。 | 作成したロゴマークをパン フレットやポスター等にも 全面的に活用し、更なるP Rを図る必要がある。 |
| | | | | | | 平成25年7月 | | | | | | | 平成26年11月10日 | | |
| 農 林 部 | 目黒久彦 | 森 づ くり 推 進 課 | 林 業 振 興 班 | 藤 田 昇 | 018- 860- 3381 | 秋 田 杉 恋 プ ロ ジ ェ ク ト (秋 田 杉 犬 お も て な し 事 業) | 秋田杉活用のPRを図る ため、秋田杉恋実行委員 会が実施する「秋田杉恋 プロジェクト」のうち、「秋 田杉犬でおもてなし事業」 に係る経費について負担 金を支出する。 | 320,000 | 負担金 | 秋田杉犬おもてなし隊出 発式開催(秋田駅前 10/1) 「秋田杉犬」30体を作成 し、秋田駅・秋田空港等へ 展示(10/1~10/31) | 秋田杉恋実行 委員会 | 一般県民 | 平成26年8月5日 | 新しい秋田スギの活用方 法のPRとなり、県が進め ている県産材利用推進施 策の普及促進へつながっ た。 | 作成した「秋田杉犬」を、 秋田杉活用のPRに使用 することとしており、今後 も継続的に秋田杉活用のP Rとにぎわい創出を実施し ていく必要がある。 |
| | | | | | | 平成25年10月 | | | | | | | 平成26年11月10日 | | |